

No.65

2026.4.15

発行編集:日之影町議会報編集委員会

委員長報告・P6～P7

議員報酬改定・P9

一般質問・P11



安心・安全・おいしさ 食べて確認

ひかがみ
議会だより

所管事務調査 総務文教常任委員会

「子どもたちの笑顔を守る、
学校給食の安全と安定供給」



令和8年2月27日、当委員会は学校給食に使われる町産食材（お米・野菜・ジビエ）の供給体制について現地調査を実施しました。

現地で確認したこと、今の取り組み

《町産米の供給》令和8年度から「ひのかげアグリファーム」が納入を開始します。視察では、色彩選別機を通した「ふるさと納税の返礼品と同じ厳しい規格・品質」のお米が提供されていることを確認しました。鮮度保持や調理現場の負担軽減にも配慮した運用が行われています。

《地産地消野菜》現在13品目が提供されています。管理栄養士と生産者が連携し安全な供給が図られています。さらなる量の安定確保が今後の課題です。

《ジビエ》処理施設を調査しました。弾の混入を避けるため「代表自ら捕獲した個体」に限定し、急速凍結機を活用するなど、徹底した安全管理と鮮度保持が両立されています。



▲ 厳しい品質管理

委員会からの提案

現場の「高い技術」と「行政の支援」が噛み合った良好な体制を確認できました。この仕組みを将来にわたって維持するには、現場を支える担い手の確保が不可欠です。地域おこし協力隊の活用など、安定供給を続けるための継続的な支援を求めます。

所管事務調査 経済建設常任委員会

「町の道をどう守るか、
観光施設をどう活かすか」



令和8年2月5日、当委員会は町道の維持管理の現状と、観光施設の今後の方針を検討するため、現地調査を実施しました。

現地で確認したこと、今の悩み

《乙ヶ淵（吊り橋）》老朽化で封鎖されていますが、対岸に家もなく、多額の資金を使って復旧させるだけの投資効果が乏しいのが実情です。

《煤市奥村線》落石で通行できません。ボルダリングなどの観光資源としての魅力はありますが、現状は行き止まりの道です。将来の植林計画に合わせた道づくりが必要な一方、放置すれば土砂災害の危険もあり、地権者との話し合いを含めた再確認が急がれます。

《あけぼの荘》建物が古く危険な状態です。早急に解体し、国有地の取り扱いについて国との協議を加速させるなど、方針を早期に示すべきです。

《ケビン村》かかった費用に対して効果が上がりにくい厳しい運営状況です。今後は村おこし総合産業株

から切り離し、出羽施設や石垣の村と一緒に運営する形など、より効果的な仕組みを考えるべきです。

委員会からの提案

調査を通じて、町全体の道や施設のあり方を、今の実情に合わせて根本から見直す時期に来ていると痛感しました。利用されていない道の「廃線」も含めた検討や、道路台帳の再編を求めます。観光施設についても「先送り」をせず、使うのか、やめるのか、迅速な経営判断を下すことが、町の健全な未来につながります。



▲ あけぼの荘

自己負担（約19億円）が将来の町政を圧迫する可能性も考えられる。また、資材・燃料高騰が予算を上回る速度で進行しており、実質的な財政のゆとりは失われていると予見せざるを得ない。

本予算案は施政方針の柱を一定程度具現化しているものの、「観光施設の抜本的見直し」という議会の意思が反映されておらず、原案の通り可決すべきものと決定はするが、これは現状の追認ではない。

当局においては、本報告の重みを真摯に受け止め、以下の施策提言を直ちに断行することを強く求める。

- ・令和6年2月の報告に従い、外部監査の導入を検討し速やかに第三者による経営分析を行い、その結果を報告すること。

- ・不採算施設の縮小や民間移管を含む具体的な「出口戦略」を策定し、9月の決算議会までに議会へ提示すること。

- ・公共工事の完遂に向け、物価動向に即した適正な予算執行を責任をもって果たすこと。

- ・農林業に対する積極的な投資を更に進め、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金を受け取るべき農地管理の在りかたを検証すること。

以上、令和8年度一般会計予算並びに特別会計予算は上記の意見を付して本会議において可決すべきものと決定いたしました。

名の来場を想定しており、実行委員会を中心に会場レイアウトや輸送・宿泊計画等のコミュニケーションを重ね、万全の体制で臨む。

4. 健やかな町づくりについて

健康寿命を延伸させるための各種事業の展開は。

展開は。

【町長】ライフスタイルに合わせた運動が重要だ。防災無線でのラジオ体操や健康運動指導士による「フレッシュ運動教室」のほか、認知症の方や家族、専門職が交流する「お茶のみ交流事業」に取り組んでいる。

住民の健康意識を高め、孤独・孤立を防止する。

取り組みは。

【町長】「自分の健康は自分で守る」意識の醸成に向け、健診受診を指導している。高血圧対策の血圧計貸し出しや、若年層への「ヤング健診」を実施。また、引きこもり予防として看護師等による定期訪問を行い、寄り添った支援で孤独・孤立を防止する。

催や免許取得支援などの具体策についても、国の補助要件等を踏まえつつ、早期に対応を検討していく。

特定技能外国人の雇用における課題と受け皿づくりは。

受け皿づくりは。

【町長】令和7年度は観光・林業・農業で計7名が就労している。課題は住居確保、日常生活支援（言語・医療・交通等）、就労環境の整備、そして地域住民の理解促進である。単なる人材確保に留まらず、地域全体での受け皿作りが不可欠であると認識している。

2. 観光振興と道路網整備について

国道から中央地区への誘客と活性化をどう進めるか。

進めるか。

【町長】中央地区を観光の核と位置付け、温泉駅や宿泊・キャンプ施設への誘導を強化する。来年度には県事業で案内看板を整備するほか、観光協会と連携してSNSやホームページでの情報発信を強化し、来訪者の回遊性を高めていく計画である。

持続可能な地域交通と道路網の整備計画は。

計画は。

【町長】狭路や落石、舗装劣化が移動や物流の支障となっている。新年度には予算措置を行い、路線数を増やす方針だ。林道や町道の補修・崩落防止には、森林環境譲与税や国の補助金を積極的に活用し、集落間を結ぶ交通網の維持を図る。



▲ サロンの様子

第1回定例会 注目議案

全て原案可決

議案番号	件名	概要
報告 第1号	日之影町新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について	新型コロナウイルスや新型インフルエンザ以外の新たな呼吸器感染症も含めた、幅広い感染症による危機に対応できる社会の実現を目的に改定。
同意第1号	副町長の選任について	甲斐敏弘氏を選任（再任）。
同意 第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	平田武利氏を選任（再任）。 任期：令和8年3月11日～令和11年3月10日
同意第3号 ┆ 同意第10号	日之影町農業委員会の委員の任命について	黒田久仁子氏（新任）・甲斐幹男氏（再任）・工藤昭一氏（再任）・矢通広信氏（再任）・佐藤陽子氏（再任）・山本英二氏（再任）・松本貴美子氏（再任）・今村浩二三氏（再任）を任命。 任期：令和8年7月20日～令和11年7月11日
議案 第5号	町長、副町長及び教育長給与条例の一部改正	日之影町特別職報酬等審議会の答申に基づき、町長、副町長及び教育長に係る給料月額を改正し、令和8年4月1日から施行するもの。
議案 第6号	日之影町議会の議員の議員報酬費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	「日之影町特別職報酬等審議会の答申に基づき議長、副議長、常任委員長、議会運営委員長及び議員に係る議員報酬月額を改正し、令和8年4月1日から施行するもの。
議案 第7号	特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する 条例の一部改正	日之影町特別職報酬等審議会の答申に基づき、特別職の職員で非常勤のもの の報酬を改正し、令和8年4月1日から 施行するもの。
議案 第8号	日之影町職員の特殊勤務手当 に関する条例の一部改正	異常な自然現象又は大規模な事故により重大な災害が発生し、若しくは発生するおそれがある現場において行う巡回監視、災害調査、応急作業、災害警備、遭難救助又はこれらに相当する作業に従事する職員の特殊勤務手当を新たに定め、令和8年4月1日から適用するもの。
議案 第11号	企業立地奨励措置指定事業者 の認定について	雇用の創出と地域活性化につながるが大いに期待できることから、「株式会社ことろど」を事業者として指定。
議案 第12号	日之影町公の施設に係る指定 管理者の指定について	鹿川地区交流センターの管理を行わせる指定管理者に、鹿川地区活性化協議会を選定。
議案第13号 ┆ 議案第19号	令和8年度日之影町一般会計 予算及び特別会計予算6議案	一般会計予算：56億3,800万円 国民健康保険事業特別会計予算：5億8,834万6千円 奨学資金事業特別会計予算：1,440万7千円 介護保険特別会計予算：6億5,708万3千円 後期高齢者医療特別会計予算：6,890万7千円 簡易水道事業会計予算：9,587万2千円 農業集落排水事業会計予算：2,547万9千円
議案第20号 ┆ 議案第24号	令和7年度日之影町一般会計 補正予算（第6号）及び特別 会計4議案	一般会計補正予算：1億1,746万5千円減額 国民健康保険事業特別会計補正予算：97万7千円増額 介護保険特別会計補正予算：337万9千円増額 簡易水道事業会計補正予算：267万6千円増額 農業集落排水事業会計補正予算：8万円増額
同意 第11号	固定資産評価審査委員会委員 の補欠の委員の選任について	坂本泰雄氏を選任（新任）。 任期：令和8年3月19日～令和10年9月26日
議案 第25号	日之影町特別職報酬等審議会 条例の一部改正	審議会委員が更に情報を集めやすく、多くの情報から公平公正に審議を進められるように「意見の聴取」の条項を追加。

注目予算

**5月にリハーサル大会開催!
国民スポーツ大会実行委員会負担金
3,900万円**

会場設営や運営体制の構築



◀ なぎなた大会ポスター

**「ひのかげアグリファーム」の経営力強化
地域プロジェクトマネージャー事業
553万円**

事務局に専門知識をもつ人材を配置



**公共施設の省エネ化と長寿命化
保健センターLED改修工事
3,828万円**

照明器具をLED器具に交換し、環境負荷を低減



**農作物被害を食い止める
地域おこし協力隊(有害鳥獣捕獲員)採用
131万円**

ハンターの高齢化対策
協力隊枠を活用して担い手を確保



令和8年 第1回定例会 議案第13号 議員賛否の結果

件名	(○ 賛成 × 反対 - 欠席) ※議長は採決に加わりません。							
	1	2	3	4	5	6	7	8
	久保優一	高館英嗣	小川輝久	一水輝明	河野學	甲斐徳仁	小谷幸治	甲斐睦彦
令和8年度日之影町一般会計予算	×	○	○	○	×	○	○	

注 目 予 算

シイタケ栽培持続のために クヌギ林等林相転換促進事業 108万円

大きくなりすぎたクヌギ林を伐採し、原木に適した山に転換



ふるさとの水で町をPR 日之影町ふるさと天然水事業委託料 152万円

天然水をボトルに詰めてイベント、会議で提供



課題の解決や自立に向けた支援 生活困窮者等相談支援事業 455万円

経済的・社会的な困難を抱える世帯への寄り添い支援



誰一人取り残されない子育て支援を目指して ひのかけ相談支援事業 240万円

障がいを持つお子さんやその家族が安心して暮らすための相談窓口の運営



危険空き家撤去の促進 住宅等除却事業補助金 60万円

町内在住者は最大30万円、町外居住者は最大20万円を補助



適時適切な修繕 観光施設修繕費 3,750万円

「温泉駅」のポンプ等、老朽化した主要観光設備の修繕



予算審査特別委員会委員長報告

委員長 高館 英嗣

本委員会に付託されました、令和8年度日之影町一般会計予算並びに特別会計予算7議案について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本予算は総額56億3千800万円を計上しておりますが、物価上昇率に追いついていないか疑問は残るが、実質的には極めてタイトな編成である。この厳しい財政状況下において、限られた財源が効率的に配分されているかを厳格に審査した。

本予算の審査では、特に商工観光費の議論において紛糾する場面があり、本質を省みると当局による「2年間に及ぶ議会提言の放置」にあることが見受けられた。令和6年2月の所管事務調査報告において、不採算施設への「外部監査の導入」や「抜本的な組織改革への協議」が明確に求められていたにも関わらず、今回の予算案においても具体的な経営改善策や出口戦略は示されていないのみならず、課内協議のプロセスすら不透明なまま示された。未改善の2年間は、町政運営における組織統治の欠如を露呈しており、責任は極めて重いと言わざるを得ない。

審査の結果、本予算案では地方交付税の額面が増額されているとはいえ、起債残高が約65億円に達するなか、交付税措置の対象外となる「3割の

総括質疑

総務文教常任委員会

1. 行財政運営について

問 令和8年度当初予算56億3千800万円の執行に対する物価高騰の影響は。

【町長】長期総合計画や国・県の動向を踏まえ予算編成を行った。歳入面では町民税・入湯税が9.6%増加する一方、たばこ税や軽自動車税は減少傾向にある。ふるさと納税や企業版ふるさと納税の活用を一層推進するが、歳入に見合った歳出を基本とし、需要の優先度を厳選して事業執行にあたる。

2. 未来を担う子育て支援について

問「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取り組みは。

【教育長】子供たちが自ら問いを見つけ、周囲と協力して納得のいく答えを導き出す学びのことである。得た知識や技能を統合し、未知の課題も解決できる能力を育むため、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進していく。

3. スポーツ振興について

問「第67回都道府県対抗なぎなた大会」に向けた準備状況は。

【教育長】令和9年度の国民スポーツ大会リハーサル大会として、本年5月23日、24日に日之影中学校で開催される。選手・関係者ら約900

総括質疑

経済建設常任委員会

1. 農林業の振興策について

問 大径化した高齢級クヌギ林等の林相転換支援は。

【町長】本町のクヌギ林は占有面積の約8%を占めるが、その91%が30〜50年以上の高齢級であり、椎茸原木に適する15年以下はわずか2%にとどまっている。対策として森林環境譲与税を活用した「林地転換事業」を検討しており、高齢化したクヌギ林を伐採し、転換を進める方針である。

問 農業資産を次世代に引き継ぐ体制は。

(第三者承継等)

【町長】所有者の高齢化で農地の譲渡・売却・相続に関する相談が増加している。対策案として、譲渡・賃貸の選択肢整備や経営資金・研修体制の確保、地域の受け入れ態勢づくりを通じて承継を図る。具体的な支援メニューやスケジューリング構築が今後の課題である。

問 有害鳥獣対策の拡充と徹底した個体数管理対策は。

【町長】令和8年度よりイノシシの補助単価を1,000円引き上げる。背景には、わな設置や燃料費等の実費負担増による捕獲者の採算悪化がある。現場から求められている講習会の開

総括質疑

令和8年度 予算審査特別委員会

1. 住宅施策の推進と適正管理

【町長】 家屋調査や住宅補助金など施策が前進している。この好循環を維持するための適正な管理を促す仕組みづくりや、未利用の町営住宅の処分方針を問う。

【町長】 既存住宅の維持管理は役場主体で行うことが前提であるが、入居者への働きかけも必要である。老朽化した公用住宅の除却は多額の費用を要するため、来年度にすべて実施することは困難であるが、担当課で調査を行い、着手していく。子育て支援策と合わせた住宅のPR・情報発信も重要であると考えている。

2. なぎなたリハ大会の運営計画とリスク対応

【町長】 5月開催のリハ大会に向け、ボランティア確保や雨天時の駐車場対策など、コミュニケーションは現実的なのか。また、町負担の大きさに対する支援拡充を問う。

【教育長】

ボランティアは中高生や各種団体に依頼済みである。雨天時の駐車場(グラウンド)対策は、業者と協議し敷物を敷く等の対応を検討している。

【町長】

町村会等を通じて県へさらなる支援を求めた。今後も知事を含め、さまざまな場面で負担軽減に向けた働きかけを行っていきたい。

3. 観光・福祉分野の経営の在り方と報告体制

【町長】 観光施設の収益改善や社協への1,000万円貸付について、事前の説明や進捗報告が不足していたのではないか。

【町長】

英国館等の施設は、ユネスコエコパークの拠点として守り抜く考えである。不採算部門の扱いは課題であるが、今後は副町長を交えて体制を協議していく。報告が遅れたことについては真摯に受け止めており、今後は重要な事案について事前に説明を行いたい。また、社協への貸付は他法人との整合性を考慮した判断であるが、これも丁寧な事前協議が必要であったと認識している。



4. 有害鳥獣対策の奨励金と財源の検討

【町長】 捕獲奨励金の1,000円増(1万円)でモチベーションは維持できるのか。森林被害の食害対策として、森林環境譲与税を財源に充てるべきではないか。

【町長】

1,000円程度の増額では向上に限界がある。令和8年度には捕獲者の実態調査を行い、根拠に基づいた単価を検討したい。財源についても、ふるさと納税(企業版)や森林環境保全に関する予算の活用を含め、調整・検討を進めていく。

5. 中山間直接支払い制度の課題と農業承継

【町長】 協定面積が56ha減少したが、協定外農地の管理はどうか。また、親元承継など担い手確保への支援策を問う。

【町長】

減少の主な要因は高齢化による脱退であると認識している。協定外農地については、アグリファーム等を活用した管理も一つの手段である。親元承継については、独自に継承奨励金などの制度を設けており、ケースバイケースで事態に応じた支援を行う。放牧による荒廃地対策の効果も注視し、応援していきたい。

議員報酬の改定を全会一致で議決

◆ 議会としての判断

今回の議員報酬改定案については、慎重な審議を重ねた結果、議会全会一致で可決されました。この決定は、第三者機関である「日之影町特別職報酬等審議会」からの答申を重く受け止めると共に、議会としては、報酬の適正化を図ることで、多様な人材が町政に参画しやすい環境を整えるとともに、これまで以上に透明性の高い、開かれた議会運営に邁進していきます。

	現行額	答申額	増減
議長	月額 293,000円	月額 332,000円	+ 39,000円
副議長	月額 222,000円	月額 251,000円	+ 29,000円
各委員長	月額 217,000円	月額 246,000円	+ 29,000円
議員	月額 212,000円	月額 240,000円	+ 28,000円

《日之影町特別職報酬等審議会答申》

本審議会としては、平成26年に議員定数を減らしており議員1人にかかる職責の重さや令和6年5月の全国町村議会議長会における「議会・議員活動の豊富化、議員報酬の適正化に関する決議」及び令和6年10月の宮崎県町村議会議員大会、日之影町議会における特別決議も踏まえ、引上げることが妥当と考える。

郵便はがき

8 8 2 0 4 0 1

恐れ入りますが、85円分の切手をお貼りいただくか議会事務局までご提出ください。

日之影町大字七折9079

日之影町議会事務局 行

氏名（掲載しません）

ペンネームなど



ご意見箱設置場所

- ・役場玄関
- ・道の駅レストラン前

更により良い議会だより
町づくりのため
皆様の声をお聞かせください!

今回も引き続き議会放送についてのご意見ご感想を募集します。(もちろん他の題材も受け付けています)

提出はハガキ、ご意見箱、
メール (gikai@town.hinokage.lg.jp)
でお受けいたします。

これからは、
QRコードにてご意見頂ける
ようになりました →



なお、頂いたご意見は、個人情報保護の上議会でのみ使用します。

「全国初」の取り組みに期待と厳しい注視を
 経済建設常任委員会・総務文教常任委員会連合審査会報告書

3月の定例会本会議において付託された「企業立地奨励措置指定事業者の認定」について、2つの委員会による連合審査を行いました。

本事業は令和7年度から始まった「全国初の試み」として注目されています。一方で、審査の過程では、現時点で事業の成果を測る客観的な指標（KPI）が不足しており、他事業との比較検討が困難であるという課題が浮き彫りになりました。

委員からは「公費を投じる以上、住民が納得できる情報公開を徹底すべき」「企業内での人材交流を検討し、実効性のある協力体制を築くべき」といった、厳しくも建設的な意見が相次ぎました。

連合審査会としては、事業者のこれまでの意欲に一定の

評価を置きつつも、議会として厳格に事業の進捗を追う必要があると判断いたしました。

審査の結果、「6ヶ月周期の中間報告を求める」という意見を付し、本案は原案の通り可決すべきものと決定いたしました。未知の領域への挑戦だからこそ、その芽を育てるための監視と支援を両立させ、今後の推移を注視してまいります。



おたよりコーナー

いつもたくさんのご意見ありがとうございます。今回は寄せられたお便りの中から取り上げてみました。



Q 町民が参加できない内容を防災無線で流すのはなぜですか？自分たちの仕事を放送するためにあるのではないのでしょうか？

A アンケートありがとうございます。実は放送する会議の多くは原則公開しており、どなたでも傍聴可能です。放送は私たちの事務連絡ではなく、町の大切な議論を共有するための機会として行っております。今後は傍聴案内をより丁寧に行い、開かれた議会を目指します。ぜひ議場へお越しください。

◇あなたの年齢は？（○をつけてください）

10代・20代～30代・40代～50代・60代以上

◇「議会放送」に対するご意見ご感想

.....

.....

.....

.....

◇町や議会に対するご意見

.....

.....

.....

.....

ありがとうございました

一般質問

重度障がい者就労支援特別事業の導入は

町長 先進事例を確認し検討を進める



高館 英嗣
議員

問 本町で重度障がいがありながら、支援があれば就労できる可能性のある対象者は何名か

町長 重度心身障がい者は114名、そのうち就労していない12名のうち、9名は施設入所等で、残り3名も現在は就労を希望していない。

問 福祉を起点とした地域経済の循環につながると考えるが所見は

町長 新たな雇用創出や介護職の処遇改善につながると考えられるが、まずは方向性や課題について研究が必要である。

問 本事業を移住・定住促進や町職員の採用に活用できないか

町長 障がい者の採用促進は求められており、活用できる提案は歓迎する。既存の「のぞみ工房」が定員満員であることも踏まえ、受け入れ態勢を検討する。

問 介護事業所に就労支援を委託することで、事業所の収益を上げ、賃金改善につなげられないか

町長 介護報酬が低く経営が厳しい中、事業導入で循環が生まれれば良い。担当課や事業所と協議し、市での先行事例（延岡市等）も踏まえ検討したい。

問 将来への投資として、町が先駆けて前向きに制度設計を行うべきではないか

町長 制度の存在は今回の質問で深く認識した。やらないわけではなく、役場が受け皿になれるか等、持続可能な形を何度も検討していく。

福祉の向上、維持には自発的な参加を促すための新制度が必要ではないか

町長 住民ニーズに対応できる包括的な支援体制の構築に向け、住民や関係機関と協議しながら検討していきたい



久保 優一
議員

問 人口減少、高齢化が進行し、社会情勢が以前と異なってきた福祉向上、維持には自発的な参加を促すための新制度の設立が必要ではないか

町長 将来にわたり持続的に住民福祉の維持向上を図っていくためには、住民同士のつながりや共助に頼る部分も必要になってくるものと考えられる。どのような分野で、どのように関わる事が出来るのか、課題を洗い出す必要があると感じている。住民ニーズに対応できる包括的な支援体制の構築に向け、住民や関係機関と協議しながら検討していきたい。

問 行政職員が副業という新たな関わり方で視点を変えてまち作り

町長 職員が行政事務から培う知識や経験はもちろんのこと、地域活動参加等により得られた知見をもとに政策立案することは、地方公務員として重要なことと考えており令和7年度は11名の職員に許可を行っている。副業はあくまでも職務専念義務が課せられていない勤務時間外の自発的な活動である事を念頭に置いたうえで希望する職員が許可申請を躊躇なく行える環境づくりに取組みたいと考えている。



おたすけ2680

主な議会活動状況 (1月16日～4月15日)

1月

- 20日 議会運営委員会・全員協議会
- 21日 西臼杵郡森林・林業・林産業活性化協議会要望活動(宮崎市)
- 22日 性化協議会要望活動(宮崎市)
- 25日 第55回日之影町駅伝競走大会
- 26日 第1回臨時会
- 27日 西臼杵広域行政事務組合議会
全員協議会(高千穂町)
- 29日 全議員研修会及び視察研修
- 30日 (宮崎市・小丸川発電所)



2月

- 1日 第42回日之影町民のつどい
- 5日 経済建設常任委員会所管事務調査(見立)



- 9日 九州中央道整備促進西臼杵議会特別委員会表敬訪問(宮崎市・日向市・延岡市)
議会報編集委員会
- 10日 国スポ本大会での行幸啓における要望活動(宮崎市)

- 10日 主要地方道日之影字目線要望活動



- 13日 全員協議会
経済建設常任委員会
- 16日 西臼杵郡町村議会議長会要望
- 17日 活動(福岡市・熊本市)
- 17日 宮崎県北部広域行政事務組合議会定例会(延岡市)
西臼杵郡町村議会議長会第2回臨時会(五ヶ瀬町)
- 18日 宮崎県町村議会議長会定期総会(宮崎市)
- 20日 九州中央道整備促進西臼杵議会特別委員会表敬訪問(日向市・延岡市)
- 24日 議会運営委員会・全員協議会
- 26日 西臼杵広域行政事務組合議会視察研修(宮崎市・国富町)
- 27日 総務文教常任委員会所管事務調査

3月

- 1日 宮崎県立高千穂高等学校卒業式
五ヶ瀬中学校卒業式(五ヶ瀬町)
- 2日 西臼杵広域行政事務組合病院事業運営評価委員会(高千穂町)
- 3日 第1回定例会(初日)
全員協議会
- 5日 第1回定例会(一般質問)
議会運営委員会・全員協議会

- 6日 連合審査会
学校給食試食



- 9日 第1回定例会(総括質疑)
- 11日 予算審査特別委員会
- 13日 予算審査特別委員会
- 16日 日之影中学校卒業式
- 17日 予算審査特別委員会
議会運営委員会・全員協議会
- 18日 西臼杵広域行政事務組合議会
全員協議会(高千穂町)
- 19日 第1回定例会(最終日)
- 23日 西臼杵郡町村議会議長会定例会
九州中央自動車道建設促進大会(延岡市)
- 25日 町内小学校卒業式
- 27日 西臼杵広域行政事務組合議会
定例会(高千穂町)
- 30日 高齢者大学並びに高齢者教室
卒業式
- 31日 退職者辞令交付式

4月

- 1日 副町長辞令交付式
人事異動辞令交付式
小・中学校管理職着任式
- 8日 日之影中学校入学式
- 9日 町内小学校入学式
- 15日 事務連絡員会

編集後記

肌寒い初春を越えて柔らかな新緑も眩しくなってきた頃ですがいかがが過ぎでしょうか。令和八年度予算を審議した今定例会では、農林業を始めとして観光、福祉予算など、沢山の言葉を交わしました。予算は町の「設計図」であり「羅針盤」です。執行部と議会の答え合わせが終わり、決定した予算がどのように執行され、皆さんの暮らしに届くのか。私たち議会には現場の声に寄り添いながら今後も一緒に歩んでいきます。

久保 優一

発行責任者

議長 甲斐 睦彦

議会報編集委員

委員長 久保 優一

副委員長 一水 輝明

委員 河野 學

委員 高館 英嗣

委員 小谷 幸治